

ヴィスタ・ポイント3：芹川堤防

城下町への南からの入口は、朝鮮人街道と彦根道が合流して芹川を渡る芹橋、巡礼街道が芹川を渡る池洲橋、芹川の右岸沿いに城下町に入る猿尾などがあげられます。これらは、芹川堤防から彦根城を見るヴィスタです。芹川堤防からのヴィスタが重視された証拠として、井伊家年譜に次のような記述があります。

彦根城の鐘の丸には御守殿という建物があり、元和6年（1620年）二代將軍徳川秀忠の娘・東福門院が後水尾天皇に入内のため入洛するのに備えた宿泊施設として建てられたものですが、行程が変更され使われませんでした。そこで、本丸御殿広間ならびに鐘の丸御守殿は、解体しようと考えられましたが、「善利川堤・安清辺より御城内御建物の棟多く重り相見え、様子よく御座候に付、そのまま指置し候由」と、本丸御殿広間も鐘の丸御守殿も、芹川堤防・安清付近からの景観を配慮して撤去されなかったのです。

現在、安清付近は、佐和山小学校や高い建物が彦根城への眺望を遮っています。

しかし、JRの猿尾踏切付近では、民家の屋根越しに天守を望むことができます。



また、芹橋からも辛うじて天守を見ることができます。一方、池洲橋付近からは、今でも天守と天秤櫓、西の丸三重櫓を見ることができ、彦根城郭の威容がも

っとも強調される景観となっています。近辺の建物や電柱が低く抑えられれば、素晴らしいヴィスタ・ポイントとなるに違いありません。（続く）



善利組・中藪組足軽屋敷 秋の特別公開

平成25年10月26日（土）・27日（日）午前10時から午後4時まで、善利組足軽屋敷と中藪組足軽屋敷が特別公開されました。

主催は、彦根辻番所の会・瀧谷家まちかど資料館・彦根景観フォーラムらでつくる彦根歴史的風致活用実行委員会で、善利組では旧磯島邸・辻番所、吉居邸、服部邸、太田邸（展示）、中居邸（展示）が公開され、中藪組では瀧谷家が公開されて伝来資料が多数展示されました。



彦根景観フォーラム 入会のご案内

彦根景観フォーラムは、まちづくりを楽しむNPOです。大学教員、建築家、会社員、商店主、公務員などが集まり、知恵と力を合わせて活動しています。年会費 6,000円 詳しくは事務局まで。

● **ブログ** <http://hikonekeik.exblog.jp>（彦根景観フォーラムで検索）

● **定例会** 毎月第3金曜日 午後7時～9時 滋賀大学陵水会館会議室 誰でも自由に参加できます。

● **お問合せ**：彦根景観フォーラム事務局 TEL 080-1416-5968 FAX 0749-27-1431

E-mail: hikonekeikan@hotmail.com まで



きらっと彦根 vol. 34

彦根の魅力 ★ 再発見

彦根まちづくり誌 2013年11月1日 通巻34号 編集/発行 NPO法人 彦根景観フォーラム

彦根景観フォーラム新理事長に

濱崎一志 滋賀県立大学教授

彦根景観フォーラムは、山崎一眞・滋賀大学客員教授の理事長任期満了に伴い、新理事長に濱崎一志・滋賀県立大学教授を選出しました。新理事長の任期は、2013年8月1日から2年間です。

濱崎新理事長は、2004年の彦根景観フォーラムの設立当初から理事として、2009年からは副理事長として、NPO活動を共に推進されてきました。

濱崎先生が担当された花しょうぶ通りの古民家・カ石家の調査は、カ石家を「ひこね街の駅・寺子屋カ石」として再生する契機になりました。また、芹橋の足軽組屋敷の建物調査と彦根市による保存修理、七曲がりの古民家調査、多賀里の駅・一圓屋敷の建物調査などに大きな役割を果たされてきました。さらに、花しょうぶ通りなどで重要伝統的建造物群保存地区の指定にも取り組んでおられます。



濱崎新理事長の選出と同時に、副理事長には石井良一・滋賀大学教授と堀部栄次氏が選出されました。なお、山崎前理事長、柴田いづみ前副理事長

には、名誉理事として、今後ご指導いただきます。

彦根景観フォーラムは、美しい自然と歴史遺産を持つ彦根の景観を、住民とともに考え、活かし、文化の担い手という意識を高めながら、守り、育て、慈しみ、未来に向け働きかけていくことを目的としています。「彦根が、彦根らしくあり続けるために」私たちNPOは、市民の皆さんと伴に歩んでいきます。

多賀里の駅・集い&野菜市 近江猿楽「多賀座」20周年

平成25年10月5日(土)一圓屋敷に、かん高い笛の音が響き、登場したのは、座長の土田雅孝さん。

多賀町は、能、狂言のルーツと言われる「猿楽」の拠点でした。その猿楽を復興し、子供から大人まで50人近い大勢の仲間とともに平成の「猿楽」を創造する「多賀座」は、今年で20周年になります。8月初旬の多賀大社万灯祭で、毎年、平成の猿楽を上演されています。「演じて楽しい、見て楽しい新しい猿楽」の映像を紹介いただき、熱い思いを語っていただきました。



試食会は、多賀の新米の食べくらべ。四種類の炊きたて新米の銘柄を当てるのですが、味の違いはわかるものの銘柄に結び付かず、全問正解者はいませんでした。



今回は、11月2日(土)宮戸有子さんの「童謡唱歌で巡る四季」の第二回目です。試食会は、秋の恵みたっぷりの炊き込みごはんです。なお、9時~10時に行われた「多賀野鳥の森植物観察会」では、チャノキの花やイタドリの花、ススキの黄金の花などに出会えました。



特集: 彦根のヴィスタ・ポイントを探せ!
「城と町」の景観を見直そう

● 善利組・中藪組足軽屋敷
秋の特別公開